家庭学習だより

木津川市立加茂小学校　令和5年12月20日発行　6号　　学力充実部

1 年間で一番長い 2 学期もあと少しとなりました。あっという間に、冬休みがせまってきました。冬休みが始まると、かもっ子達は冬休みの課題をどうするのかが気になるところです。始まると同時に一気に仕上げてしまうのか、少しずつ計画的に進めていくのか、スタートダッシュを決めて、息切れし、最後に追い込むのか…。それとも、3 学期が始まる寸前にあわててやろうとするのか。

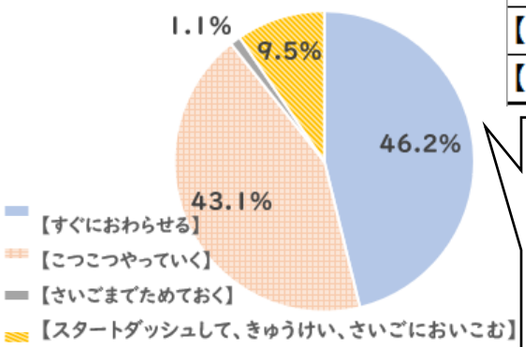
年末年始は、家での役割やイベントごとなど何かと忙しいのではないでしょうか。そんな中でも、かもっ子達が課題をしっかりと**【やり切れた】**や**【がんばれた】**、**【成長できた】**という実感が持てるようにしていきたいものです。

そのためにも、冬休みの期間を利用して、**計画を立てたり、見通しを持ちながら過ごしたりする**機会となればと考えています。家族で、一緒に読書したり、テレビを見たり、ゲームをしたり、外で体を動かしたり、ゆったりしたり…する時間を作るためにも、ぜひサポートしていただけたらと思います。大掃除を早めに終えて…課題も終えて…。ゆっくりとリラックスする時間を計画的に作ることも必要かもしれませんね。

冬休みの課題について、かもっ子に聞いてみるとこんな感じです。

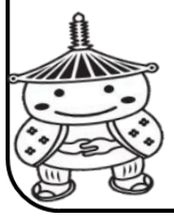
冬休みの課題どうする？

【すぐにおわらせる】	46.2%
【こつこつやっていく】	43.1%
【さいごまでためておく】	1.1%
【スタートダッシュして、きゅうけい、さいごにおいこむ】	9.5%



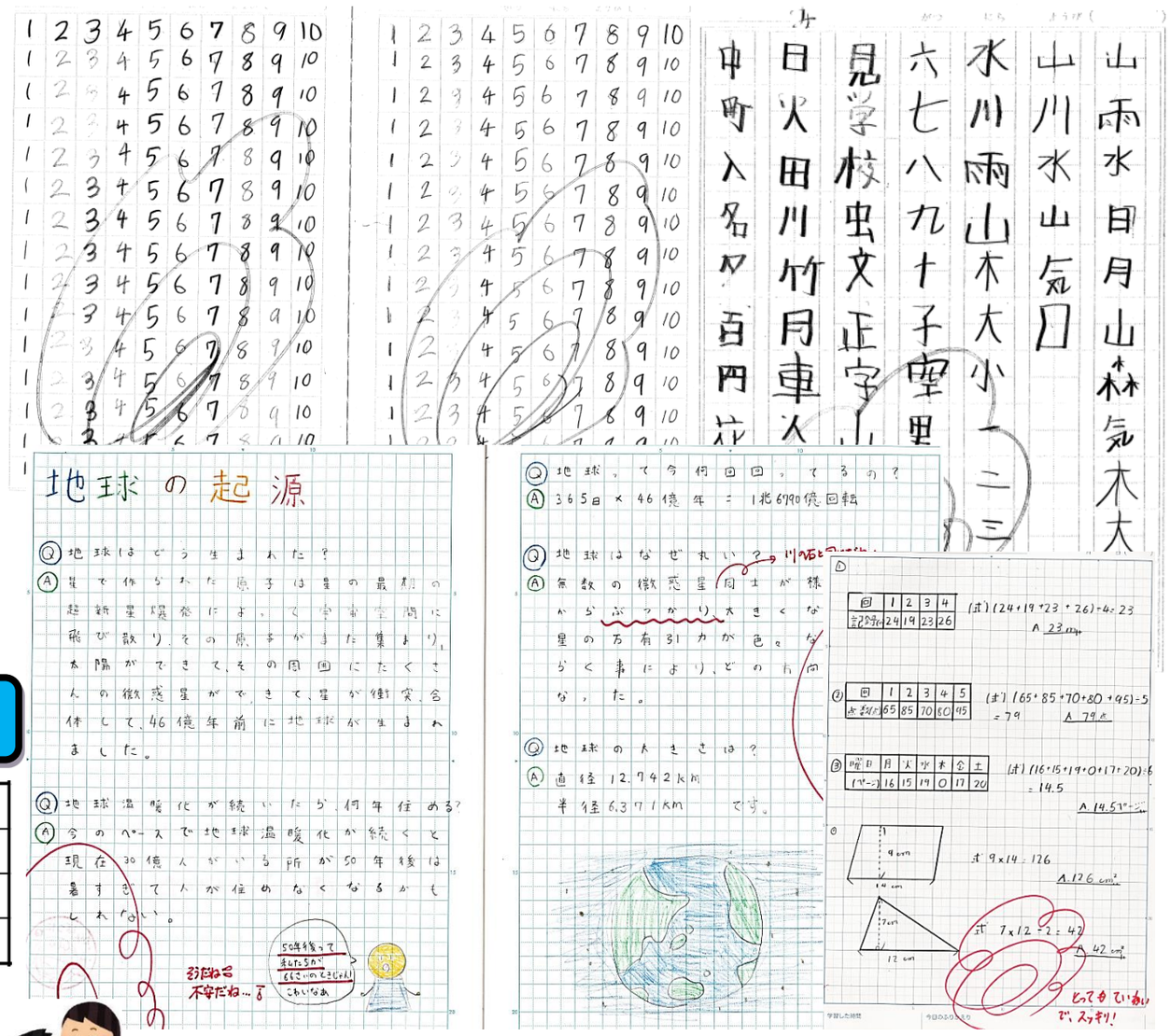
低学年は課題の全体量が少ないので、小分けにして学習習慣を崩さないスタイルが多いようです。学年が上がるにつれて、すぐに終わらせる派が増えています。夏休みとは課題の量に違いがありますが、冬休みの量ならササっと済ませて、あとの時間を楽しんでいる子も多いようです。そこに、読書や自主学習、運動の余裕が作れているのかもしれません。最後に追い込むタイプは 6 年生に多めでした。やりたいことがたくさんあることも要因の 1 つかもしれません。自分に合ったスタイルを見つけて学習を楽しんでいきましょう。

かもじろうの独り言



夏休みは、スタートダッシュでワークを終わらせて、次にできそうなことをしていたら…、遊びに夢中になりポスターや作文と戦う頃には夏休み後半になる派だったなぁ。冬休みは、**今年のうちに終わらせてしまう派**で、正月はスポーツをたくさん見てたなぁ。そして、ゴロゴロし過ぎたのを気にし始め、自分も運動をするというパターンでした。かもっ子のみんなはどんな冬休みの過ごし方をするのかな。素敵で有意義な時間にしてくだ**サイ**！いやいや、する**ぞう**！

きらり自主勉！家庭学習P-up 週間を終えても、輝き続ける自学の力☆



子どもも大人も読書・親子読書はいかがですか

読書には、語彙力が身についたり、論理的な思考力が育ったり・・・など、たくさんの効果があります。その効果を享受するためにも子どものうちに読書習慣をつけておくことが大切だと言われています。そのためには、読書しやすい環境作りが大切です。冬休みは、お家でもぜひ読書タイムを楽しんで欲しいと思います。①一緒に図書館へ行ったり、気軽に本を手に取ったりできるスペースを作る。②大人も本を読む。③読み聞かせする。なども環境作りの一つになります。

冬休みに**【親子読書】**はいかがでしょうか。同じスペースで本を読んだり、同じ本を読んだり、同じ作家の本を読んだり、読み聞かせをしたり、感想を話し合ったり・・・。ページが多くても少なくても、絵本やマンガでも、まずは本に親しみ、やがて習慣となっていくことをゴールにしていけたらと思います。